

令和5年度第2回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会  
議事録

開催日時 令和5年8月3日(木) 午前10時00分～

会場 ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室

出席者

委員 磯崎順子、稲垣恭子、井上宜生、佐藤廣、高宮光、田中和美、  
中山直子、林但(敬称略、五十音順)

事務局 川田 貴久江：健康部健康増進課長  
高橋 邦子：健康部健康増進課主査  
広瀬 裕一：健康部健康増進課主査  
桑畑 小夜：健康部健康増進課主査  
望月 朋美：健康部健康増進課主任  
福岡 明子：健康部健康増進課主任  
勝又 綾子：健康部健康増進課主任  
能條 絢加：健康部健康増進課担当者

委託業者 1名

一般傍聴人 1名

欠席者 なし

1 開会 事務局(健康部健康増進課長)が司会となり開会した。

2 配布資料の確認

3 部会員の出欠について

議事録作成のため委託業者が1名同席の旨を報告した。

4 本部会の流れについて事務局から説明

5 前回からの回答保留案案件について

事務局より、前回回答保留となっていた案件について報告した。

・ラジオ体操のカードを小学校で配布しなくなった理由について

平成26年度より県教育委員会にて実施していた「夏休み『みんなで朝ラジ!!!』プロジェクト」終了に伴い、ラジオ体操カードを小学校への一斉配布も終了した。  
これより先は、部会長による議事進行で行われた。

6 議事

議事(1) 横須賀市保健医療対策協議会への諮問について

事務局より、資料1により、横須賀市健康増進計画(第4次)、横須賀市食育推進計画(第3次)、歯及び口腔の健康づくり推進計画(第2次)を作成するため、令和5年度第1回横須賀市保健医療対策協議会において諮問を行った結果、次期プランの策定について横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会に付託されたことを報告

した。また、資料1参考により、次期プランの経緯などを説明の上、名称について「健康推進プランよこすか」とすることを審議し、承認された。

#### 議事(2)「(仮称)健康推進プランよこすか」の策定

事務局より、資料2により、国が策定する「健康日本21(第三次)」の概要について説明した。

事務局より、資料3により、現行プランと次期プランの体系の違いについて説明した。

事務局より、資料4により、次期プラン案について説明した。プランの構成は以下の1～8のとおり。

- 1 計画の理念
- 2 計画の経緯と趣旨
- 3 最終評価と課題
- 4 計画の構成
- 5 基本方針
- 6 中心となる計画の柱と重要施策
- 7 分野別の取り組み
  - ①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養・睡眠 ④飲酒
  - ⑤喫煙・慢性閉塞性肺疾患(COPD) ⑥歯・口腔の健康 ⑦がん
  - ⑧循環器病・糖尿病 ⑨食育の推進 ⑩心身の生活機能の維持・向上
  - ⑪社会とつながりの維持・向上 ⑫自然に健康になれる環境づくり
  - ⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備 ⑭子ども ⑮成人
  - ⑯高齢者(65歳以上)
- 8 各計画と取り組み分野との関係

その他に、巻末に資料編として、用語説明などを、また、データ集として、ホームページなどに、各事業計画一覧、健康・推進プランよこすか 最終評価、歯及び口腔の健康づくり推進計画 最終評価を掲載する予定。

さらに、事務局より「6 中心となる計画の柱と重要施策」の内容について説明した。

・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・3つの計画の1本化にあたり、今のところ実行可能性もあると思うので、無理のない内容だと思う。健康日本21の中にある「ウォーカブルなまちづくり」の内容が見えにくい。自然に健康になれる環境づくりとして、国ではまちづくり部門と連携して、無理なく健康になる歩きたくなるまちということも入っていると思うがその辺りはどうか。

事務局回答 事務局内で検討しており、市内のウォーキングサインなど他課で行っている事業と連携できたらと思っている。

部会員意見等・このプランができれば、協力していきたい。

- ・次期プランはより体系などが見て分かりやすくなった。
  - ・事務局より「7 分野別の取り組み」の取り組み分野①～③について説明した。
  - ・部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・比較的若い年代の女性のやせの問題について、他の自治体はまだあまり取り組んでいないので、先進的な取り組みだと思う。
- 部会長 女性のやせもだが、小児科では若い母親のカルシウムが不足していると思う。また、なるべく日焼けをしないようにしている方がおり、子どもにも影響してくるので、その辺りを含めて、若い女性の食生活に関する調査は大事だと思う。
- 部会員意見等・取り組み分野②身体活動・運動での主な取り組みとして、「各世代を意識した効果的な健康教室やスポーツ教室の機会を提供」とあるが、どこと連携しているのか。
- 事務局回答 スポーツ振興課や保健体育課と連携することを目標としている。
- 部会員意見等・一般財団法人シティサポートよこすかが専門性のある部門も幅広く様々な教室を行っているので、連携するのも一つの方法かと思う。また、教育委員会が毎年1月に小学校と中学校でモデル校を指定して睡眠や食事の問題など2年間の研究成果を発表するシステムを10年ほど行っているので、このようなところと連携するとより効果が上がると思う。
- 事務局回答 貴重なご意見として参考とする。
- 部会員意見等・分野別の取り組みの評価指標は、市民アンケートの結果を元としているところがあるが、全国的な平均との比較がないためわかりづらい。肥満者の割合については、横須賀市は高いのか。
- 事務局回答 高い傾向にある。
- 部会員意見等・車社会の影響があるか。
- 事務局回答 原因を特定することは難しい。
- 部会員意見等・個人的には、車移動が多くて日常生活の中で体を動かす機会が少ないことが問題だと思う。意識が高い人達はスポーツ教室などに自分から参加すると思うが、そうでない人達が自然に身体を健康に保っていけるようなまちづくりをすることで広く広まると思う。
- 事務局回答 ご意見の内容に近いのが、取り組み分野⑫自然に健康になれる環境づくりのため、そこで説明できればと思う。
- 部会員意見等・取り組み分野③休養・睡眠の主な取り組みで、睡眠と生活習慣病の関係やこころの病気についての啓発は難しいところだと思う。市民の方にどう周知していくのか、また複数の取り組み分野にも関係するが、19歳から壮年期層の健康づくりは休養・睡眠がとれる環境に

置かれていない人が多いと思うので普及啓発に取り組んでもらいたい。

部会長 取り組み分野③休養・睡眠についての評価指標については国などの平均と比べて低いのか。

事務局回答 睡眠で休養が取れている人の割合は、国の平成30年度の国民健康・栄養調査のデータでは78.3%、横須賀市の市民アンケートの結果では66.8%。比較対象が異なるが、参考として横須賀市の方が10%ほど低い。

部会長 その原因はわかるか。

事務局回答 特定の原因に絞るのは難しい。様々な原因があると思う。

部会員意見等・データの比較について、同じぐらいの人口の自治体と比較すると良いと思う。

- ・事務局より「7 分野別の取り組み」の取り組み分野④～⑥について説明した。
- ・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・取り組み分野⑥歯・口腔の健康について、子どもの歯並びについてよく耳にする。顎が小さくて生え変わりの時期にがたがたの歯になってしまう。横須賀市として何か対策や周知はしているのか。

事務局回答 歯並びを気にする人は最近多い。横須賀市では、歯並びや顎が小さいことに関して、食育のことと合わせて、学習指導要領に基づいて小学校の歯科教室などでよく噛むことの大切さなどを周知している。

部会員意見等・よく噛むことも大事だと思うが、骨格など先天的なところもあると思うので対応できない部分を保護者に向けてアピールしてもらいたい。

事務局回答 歯科健診、乳幼児健診で、1歳半、3歳の子どもの保護者の方と会う際に、引き続き歯並びのことについてもチラシを配布するなどして普及啓発していきたい。

部会長 乳歯の歯並は永久歯の歯並びに影響があるが、3歳半健診ではフォローがあるのか。

事務局回答 乳歯から永久歯に生え変わる段階で、むし歯にしないことが一番の歯並びの予防となる。

部会員意見等・やはり乳歯の時にむし歯が多い人は歯並びが悪くなる可能性は高い。基本的に歯並びが悪い人は遺伝的な原因が多いので、よく噛んで顎を大きくした方がいいのはもちろんだがそれだけではないと思う。また、3歳半の健診では何かの疾患などが無いと歯並びについてわからないと思う。小学校の学校健診では、むし歯だけでなく歯周病、顎関節や歯並びについては見ていると思うので、歯並びやかみ合わせで問題がある場合は、受診勧告はしていると思う。学校健診から歯科医院

- の受診へつなぐことができれば一番いいと思う。
- ・ 取り組み分野④飲酒の評価指標で、中高生の飲酒が入っているのは違和感がある。青少年の非行防止のパトロールなどで上げられるのか。
- 部会長 アンケートに回答する人はゼロかもしれないが、実質はゼロではないのかもしれない。
- 事務局回答 違和感があることを真摯に受け止め、検討する。
- 部会長 テレビや新聞でがんの経済負担の内容を取り上げており、日本酒1号、ビール500mlががんのリスクを上げる一つの目安ということだった。現プランの評価指標では、ビール中瓶3本というのがあったが、次期プランの評価指標は500mlなので、中瓶1本分となっている。違いは何か。
- 部会員意見等・分野別の取り組み⑥歯・口腔の健康で、オーラルフレイルは重要だと思う。介護予防事業ともつなげていくことも検討してもらいたい。
- 事務局回答 取り組み分野④飲酒の質問について、現プランの評価指標では、「適正な飲酒量を知っている市民の割合」及び「1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の人の割合」となっており、中瓶3本ということが評価の目安となっている。
- ご意見のとおりで、関連計画である高齢者保健福祉計画でもオーラルフレイル、口腔機能のことについて取り組んでいる。
- ・ 事務局より「7 分野別の取り組み」の取り組み分野⑦・⑧について説明した。
  - ・ 部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・分野別の取り組み⑦がんについて、商工会議所でも各企業に対して年2回健診を行っているので、PRするものがあれば協力する。
- 連携しながら、健康経営について推進していきたい。
- 事務局回答 横須賀市としてもぜひ協力していきたい。
- 部会長 がんの経済負担について、国立がん研究センターが発表した内容で、がんの治療費以外も含めたがんによる総経済的負担は約2.8兆円あるということだった。そのうち約半分の1兆円が、予防できるがんの損失のため、予防によって無くすことができると考えられている。特に一番金額的に大きいのが胃がん。ヘリコバクター・ピロリ菌による胃がんで2千億円以上という推計だった。次が肺がんで、禁煙によって予防できると考えられている。横須賀市では特にピロリ菌除菌に力を入れていて、全国でもトップクラスなので、医師会としては、横須賀から胃がんをなくすことを目標としているので、さらに推進していきたい。
- 部会員意見等・分野別の取り組み⑧循環器病・糖尿病の評価指標で、特定健康診査の

受診率の目標が70%で現状が27%と差が大きいですが、原因はあるのか。

事務局回答 横須賀市では積極的に普及啓発しているところだが、なかなか効果が上がっていないのが現状。

他の市町村の具体的なデータは持ち合わせていないが、低い状況だということは関係部署の職員との話でも感じており、横須賀市としても課題だと認識している。この評価指標については、国民健康保険データヘルス計画で細かな分析を行っているので、本プランでは大きな指標のみとしている。国民健康保険データヘルス計画の細かな分析を用いて、関係部署と連携を強化しながら実施していく。

目標値との乖離があるので、目標値を下げることも現実的には思いがあるが、長期にわたる計画のため、なるべく目標値に近づけるよう努力していきたい。

部会長 目標値を下げてもらいたい気持ちはない。

部会員意見等・シルバー人材センターでは、皆健康に意識をもっている。また、一部受診者に補助を交付している。しかし、健診のはがきが届いても、行動に移せず受診しないままの人が多く印象がある。受診を促せるよう伝えていきたい。

部会長 費用は掛かるのか。

事務局回答 一部有料のオプションがある。

部会員意見等・分野別の取り組み⑦がんについて、検診を受診率が上がらない要因として車社会ということがあると思う。生活の中で病院が身近ではないため、何かのついでではいけないのが大きいと感じる。大型商業施設の会議室のようなところでできれば、受診率が上がると思うが、難しいか。

事務局回答 貴重なご意見としてお受けする。

部会員意見等・分野別の取り組み⑧循環器病・糖尿病について、県の国保連合会でも神奈川県の特定健康診査の受診率及び保健指導の受診率が47都道府県の中で低いということはずっと変わっていない。神奈川県庁としても取り組んでいることだと思う。記載の特定健康診査の受診率は、国民健康保険だけのデータなので、健康保険組合連合会と連携するなど、国民健康保険データヘルス計画の中でやっていくことかと思う。川崎市では、川崎市の健康保険組合連合会と連携してデータのやり取りをして、区の保健師と区の健康保険組合連合会が、働き盛りの人がどういう状況に対して連携した取り組みを行っている。国民健康保険の人だけだと横須賀市のほんの一部のことになるので、そこを強調せ

ず今後国民健康保険データヘルス計画の中で職域の連携を行っていけばいいと思う。シルバー人材センターの方も意識が高いのは、連携できているからだと思う。

また、横須賀市の死因別死亡率に注釈が入っており、がんの年齢調整死亡率、脳血管疾患の年齢調整死亡率に人口 10 対という記載があるが、専門用語なので一市民には分かりづらいと思う。

部会員意見等・貴重なご意見として、検討する。

部会長 国民健康保険のデータだけで県内ではどのくらいか。

部会員意見等・横須賀市の順位はわからない。そのようなデータは県や国保連合会が持っていると思う。

・事務局より「7 分野別の取り組み」の取り組み分野⑨～⑬について説明した。

・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・取り組み分野⑩誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備について、社員食堂をはじめとした給食施設への働きかけは具体的には何か。

事務局回答 特定給食施設の巡回指導や栄養管理報告書を通して給食施設がどういった給食を対象者に提供しているかを把握している。把握した上で、対象者に必要な食事が提供されているのかの確認、野菜摂取量増加のための仕組みづくりや、減塩を促すポスターの掲示をするなど基盤整備をしていきたい。

部会長 細かい指導までしていることが分かった。

事務局回答 ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、巡回指導が難しかったが、今年度からまた再開できるので、力を入れていきたい。

部会長 年 1 回ぐらいは施設をまわるのか。

事務局回答 220 施設ほどあり、1 年間で全ての施設を巡回するのは難しい。2 年から 3 年かけて全施設を巡回する予定。

部会員意見等・同じ分野の評価指標で、民間企業・団体等との連携数が現在 10 団体ということだが、具体的には何か。

都内の学会に行った際に、ドラッグストアが連携して健康教育や血圧計などの測定を行っていた。薬局は市民の方もアクセスしやすいので、連携することで更に健康への関心が高まることが期待できる。

事務局回答 連携数については、横須賀モアーズシティ、リドレ横須賀、イオン久里浜店、さいか屋横須賀店、横須賀商工会議所、JA よこすか葉山、キューピー株式会社、明治安田生命保険相互会社、神奈川県立保健福祉大学、神奈川歯科大学などと連携している。

具体的な企業との健康面を意識した連携ということで、身近なところ

- も考えていきたい。血圧計については、ウェルシティ市民プラザ内にもあるが、市民の方が測っているのを見かける。そのような視点を取り入れて検討できたらと思う。
- 部会長 民間企業・団体等との連携数の現状値が10団体とあるが、もっとあるように思う。
- 事務局回答 その点については、事業協力をしていただいている団体として考えており、わかりやすくするために文言の修正をする予定。
- 部会長 協力する意識が高い団体は多いような気がする。
- 続いて、取り組み分野⑨心身の生活機能の維持向上の評価指標で、骨粗しょう症検診率の現状値1.3%で目標値が15%となっている。医療機関でもできるようにしたらもっと検診率が上がるのではということで、近々医師会から要望が出ると思う。
- 事務局回答 承知した。
- 部会員意見等・⑫誰もがアクセスできる健康増進のための基盤づくりについて、先ほども連携の話があったが、シルバー人材センターでは、市内の大学で歯科についての講義をしてもらった。出席者から、歯周病かこんなに怖いのか、きちんと歯磨きをするようになった、うがいをするようになったなどの感想があった。
- また、シルバー人材センターでは皆記録をとることに挑戦しているので、50mを何秒で歩けるかなど、何か記録になる場面を増やすと、社会とのつながりにも関係すると思う。
- 部会長 ⑬食への関心の評価指標で、災害に備えて食料品を3日以上備蓄している市民の割合とあるが、現状値が高いので関心もあると思う。目標値はさらに増加を目指すということか。
- 事務局回答 今回のプランから新たに入れた評価指標のため、どのような数値の変化があるか未知数のため目標値は「増加」としている。世代によっても備蓄量は違うが、現状値を上げられるようにしていきたい。
- 部会長 発災から3日はゴールデンタイムなので、それ以上備蓄していればそれに越したことはないと思うが、現状値はかなりいい数字だと思う。
- 部会員意見等・食品ロスの削減については、SDGsの持続可能というところにも直結する。評価指標では食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民ということで、どのような行動かは分からないが、意識があることは確かだと思うので、ぜひこのまま推進してもらいたい。
- 事務局回答 この数字に関しては、前回の中間評価からも少し上昇しており、所管課である環境政策課でも計画策定の予定があるので、連携して進めていきたいと思っている。

- ・事務局より「7 分野別の取り組み」の取り組み分野⑭～⑯について説明した。  
部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・取り組み分野⑯高齢者（65歳以上）の評価指標で、地域活動に参加している人の割合とあるが、⑩社会とのつながりの維持・向上の再掲だ  
と思うが数値が異なる。⑯高齢者（65歳以上）は高齢者に限った数値  
だと思うので、注釈があった方がいいと思う。
- 事務局回答 ご意見の通りなので、注釈を入れるなどしてわかりやすい表記にする。
- 部会長 養護教諭対象の講演会で、低身長と肥満について話をした。子どもの  
肥満は良性肥満と言われているが、その良性肥満というのは3歳未満  
の子どものことで、小学生の肥満は動脈硬化が既に出ている。小学生  
の肥満はまだ大丈夫と思されがちだが、そうともいえない。今後医師  
会としても学校とも連携して、進めていきたいと思っている。
- 部会員意見等・取り組み分野⑭子どもの評価指標で、3歳児のむし歯がある者のうち  
重症型の者の割合の現状値が29.3%はすごく高い数値だと感じたが、  
そんなに高いのか。
- 部会長 重症型むし歯というのは、歯科医としてはどの辺りを言うのか。
- 部会員意見等・むし歯の本数ではなく、むし歯のできる部位によって分類される。上  
前歯と奥歯、下前歯などにできるなどの決まりがある。
- 部会長 むし歯は非常に少なくなった印象。極端に歯の状態が悪い子どもはネ  
グレクト気味な家庭と思われるぐらい、むし歯が減ってきている感じ  
なので確かにこの数値は高いように思う。
- 事務局回答 重症型むし歯は全国ではなく神奈川県で力を入れており、県の計画に  
ある指標。県では、ネグレクトなど生活環境や体質などもあるが、  
様々なことを総合して見ていくため、この指標を掲げている。乳幼児  
のむし歯について、横須賀市では、全国の平均より低く、県内では最  
下位から近いところにいる。  
小学生になると、全国的にもいい状況で、乳歯から永久歯に生え変わ  
ったことも考えられる。小学校での歯科巡回教室でも、ご家庭に向け  
て歯の大切さについてのプリントを配布したり、歯科医師会の学校医  
による歯科健診、学習指導要領に基づいた歯科教室を毎年行ったりし  
ている。そのため、全国的にむし歯が少ないと思われる。乳幼児のむ  
し歯については、県内でも最下位に近く、調査した結果生活習慣に問  
題があることが分かった。1歳半健診で離乳がうまくいっていない、  
ジュースなどの量が多い、また歯磨きがうまくできていない場合に3  
歳児でむし歯になるリスクが高いため、1歳半健診で注意を促してい

る。そこで、生活指導と合わせて、栄養士とも協力して指導を行っている。ネグレクトなどの意識を持たない方、うまく調理ができない方も保護者の方でいるので、その方達の指導も含めて管理栄養士、保健師と相談しながら取り組んでいく必要があると思う。

部会員意見等・3歳児でむし歯があることは保護者の影響が強いので、生活環境によると思う。その中で、外国人の保護者も多いと思うので、日本語が通じないと指導も大変だと思う。

事務局回答 3歳児のむし歯がある者のうち重症型の者の割合の評価指標は、むし歯のある3歳児が母数のため、数値が高く見えるが、3歳児全体ではない。

部会長 むし歯のある3歳児は何%か。

事務局回答 令和4年度の数値では9.1%。

部会長 3歳児全体の約3%だと、理解できる。

取り組み分野①～⑯を通して、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・取り組み分野⑭子ども、⑮成人、⑯高齢者まではライフコース別ということで理解しているが、評価指標「プレコンセプションケアの認知度」について、⑮成人に記載があるが、国立医療センターの成人の定義では15歳から64歳となっている。高校生など若者にも知ってもらいたいところなので、⑭子どもにも記載したらどうか。

昨年は取り組みをしている看護学生に周知を行ったが、プレコンセプションケアの認知度を高めるために具体的にやっていることがあれば教えてほしい。

事務局回答 プレコンセプションケアの認知度について、事務局としても重要だと思っている。具体的な取り組みは、中高生と関わっている養護教員に対して、アンケートを取る予定。その結果を踏まえ、具体的な対策を考えていく予定。

部会員意見等・学校教育の連携ということになると、取り組み分野⑮成人には中高生の保護者も入るので、⑭子ども・⑮成人の両方に入るとよいと思う。

・私は企業の協会けんぽや健康組合で比較的若い女性の方たちと食生活を中心としたプレコンセプションケアについて話をした。生活習慣病やがんなどある程度分かる取り組み分野⑮成人の世代にも企業と連携するなどして、働くことに対しての意識づけになるので考慮してほしい。

・プラン作成にあたり関係部署と連携して推進していることはとてもいいことだと思う。プランを知ってもらいたいところに注力してもらいたい。取り組み分野⑱社会とのつながりの維持・向上について、身近に

子ども食堂も多くある。ボランティアの育成も大切だが、食の部分を供給には苦勞もあると思うので支援を考えていくことも必要だと思う。

- ・事務局よりコラムについて説明した。

部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・プレコンセプションケアという言葉は初めて聞いた。最近出てきた言葉なのか。

事務局回答 近年出てきた言葉。健康増進課では一昨年から積極的に取り組んでいる。

部会員意見等・若い世代は知っているかもしれないが、40代くらいの方は知らない人が多いと思う。注釈があったほうが良いと思った。

部会長 解説は市民へ配布する資料に米印でつけるということか。

事務局回答 ご指摘のとおり、市民に分かりやすくするため、コラムの枠を作って解説や普及啓発するための説明も記載する予定。

#### 議事（3）今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明した。

#### 7 閉会

(以上)